

基本施策評価表

所属 19300000

生活環境部 環境課

政策	11 豊かな自然環境の保全							
区分	妥当性		妥当	コスト削減の余地		有	受益者負担	適正
	上位貢献度		有効	類似事業の有無		無	成果向上の余地	有
対象	市民、職員							
施策が目指す姿	地域の貴重な財産である豊かな自然環境が次世代に引き継がれる。 地球環境にやさしい循環型社会の形成が図られる。 市民一人ひとりによる自発的な環境活動が展開される。							
成果指標	環境保全施策に対する市民満足度...5年間(H30～34)で60%へ増加(現状値56.8%) 環境保全に取り組んでいる市民の割合...5年間(H30～34)で100%達成(現状値97.5%)							
目標達成状況			平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	成果指標 1 [%]	予定					60.00	
		実績						
	成果指標 2 [%]	予定					100.00	
		実績						
	成果指標 3 []	予定						
		実績						
	成果指標 4 []	予定						
実績								
トータルコスト (千円)	予定	2,155,639	1,862,295	1,833,623	0	0		
	実績	1,827,214	1,854,027	1,833,623	0	0		
内部評価	貢献度	豊かな自然環境の保全には市民の参加と協力が不可欠であり、市民参加割合の100%達成は大きく貢献すると考えられる。						
	達成状況	単位施策の達成状況が順調に推移しているため、目標達成が見込まれる。						
	課題	資源の循環型社会形成のために、市民や企業が積極的に取り組めるよう意識づくりが必要である。						
	取組方針	自然環境の保全は市民・企業の協力が必要であるため、市民・企業へ事業の更なる周知や啓発を実施し、目標達成を目指す。						
外部評価	豊かな自然環境を次世代に引き継ぐためにも、小・中・高校生などの若い世代への教育が必要と思われる。ぜひ、地域の自然を理解してもらつ機会を醸成することを望む。 本市にも、さらに外国人の市民が増えてくると思われるので、外国人に対しての環境教育が必要であると思われる。 また、自治会の活動内容を見ると、各自治会での環境保全への取り組み方も温度差がみられるため、市としてやってもらいたいものを確立し、自治会へ働き掛けを行ってみるのも良いのではないかな。							
基本施策達成のための単位施策	施策コード	名 称					トータルコスト(千円)	達成度
	1101	環境の保全					1,170,705	100
	1102	循環型社会の形成					607,399	100
	1103	新エネルギーの推進					49,110	100

基本施策評価表 補表

施策	11 豊かな自然環境の保全		
区分	妥当性	妥当	豊かな自然環境の保全に対する評価妥当である。
	コスト削減の余地	有	事業の集約等を実施することによりコスト削減の余地がある。
	受益者負担	適正	受益者負担はないため妥当である。
	上位貢献度	有効	事業を適正に実施することにより施策への貢献度は有効である。
	類似事業の有無	無	自然環境保全の類似事業はない。
	成果向上の余地	有	事業を適正に実施することを推進することにより成果は向上する。
内部評価	貢献度	豊かな自然環境の保全には市民の参加と協力が不可欠であり、市民参加割合の100%達成は大きく貢献すると考えられる。	
	達成状況	単位施策の達成状況が順調に推移しているため、目標達成が見込まれる。	
	課題	資源の循環型社会形成のために、市民や企業が積極的に取り組めるよう意識づくりが必要である。	
	取組方針	環境の保全には市民一人ひとりの自発的な行動が不可欠なので、小学生に対して意識付けとなるような環境学習の場を提供する。	